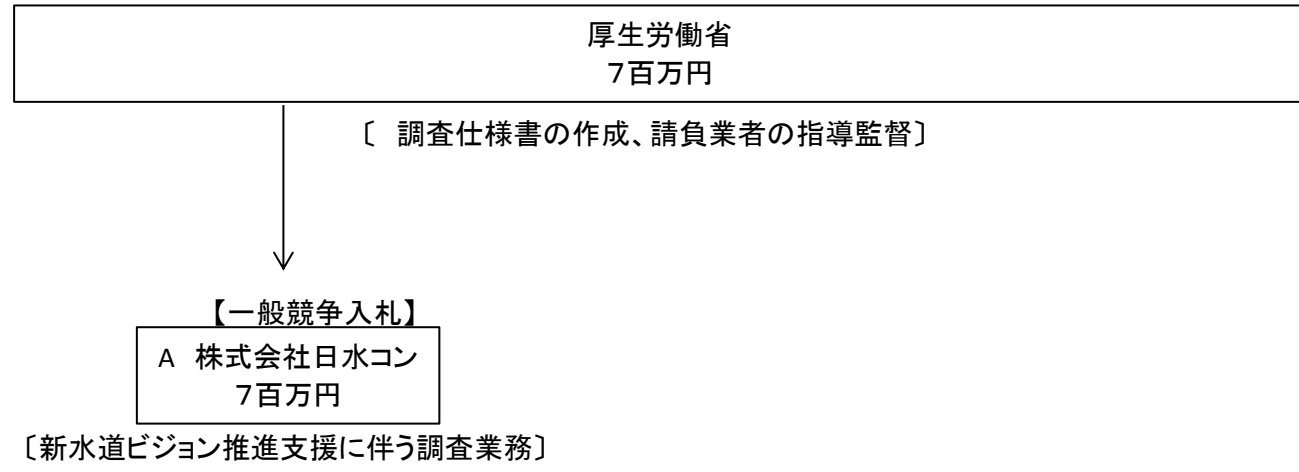


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	効率的な更新計画検討事業			担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	平成26年度	担当課室	水道課		水道課長 宮崎正信	
会計区分	一般会計			政策・施策名	Ⅱ-2-1 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	新水道ビジョン			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道施設の整備・更新に関して、①更新のピークを迎えつつある水道施設の老朽化進行への対応、②東日本大震災を踏まえての耐震化の進捗、③人口減少による資金確保の悪化、といった背景から、中長期的視点に立った水道施設の計画的更新が必要であるため、特に中小水道事業者のためのアセットマネジメント導入に向けた取組を推進するものである。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	水道施設設置状況、耐震化基礎調査、水道施設整備施工技術動向調査、水道におけるアセットマネジメント導入等に関する調査、長期的な水需給を考慮した広域的な水道施設の再構築ガイドライン策定調査、水資源開発施設の有効利用等に関する調査、浄水処理施設等の最適化に関する調査の実施。 ・効率的な更新による水道事業の情報を把握(平成24年度) ・新水道ビジョンの考え方を踏まえた効率的な更新計画の推進(関係者との連携による推進手法検討)(平成25年度) ・新水道ビジョン地域懇談会等によるアセットマネジメント等の普及促進(平成26年度)							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	12	10	7	-	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	12	10	7	0	0		
執行額	11	10	7					
執行率(%)	92%	100%	100%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 35年度
	水道事業体におけるアセットマネジメントの導入	アセットマネジメント導入率	成果実績	%	30	52	58	
			目標値	%	100	100	100	100
			達成度	%	30%	52%	58%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	アセットマネジメント簡易支援ツール作成	活動実績	%	50	100	100		
		当初見込み	%	100	100	100	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト=X/Y X:執行額 Y:未導入事業者	単位当たりコスト	円/者	10,611	14,263	10,763	-	
		計算式	X/Y	11,205/1,056	10,255/719	6,673/620	-	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	平成26年度終了事業				
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	安全で質の高い水道を確保することは国民・社会のニーズが高く、そのために必要となるアセットマネジメント導入に向けた取組を推進することは適当といえる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	中長期的視点に立った水道施設の計画的更新を行うための特に中小水道事業者のためのアセットマネジメント導入に向けた取組を推進することについては、全国一律に行う必要があり、国が実施すべき事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	安全で質の高い水道を確保するため、中長期的視点に立った水道施設の計画的更新を行うための特に中小水道事業者のためのアセットマネジメント導入に向けた取組を推進することは広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争(総合評価)方式により専門性が高く業務を確実に遂行可能な業者を選定した。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本業務を実施することで安全で質の高い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	アセットマネジメントの未実施事業者数(約600事業体)が対象となる事業であり単位当たりコストとしては妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	成果物の発注及び納品過程において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	地域懇談会等の開催で必要となる資料等について、地方公共団体の協力を得てコスト削減を図った。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	アセットマネジメントの実施率目標(35年度:100%)に対して、26年度約6割の達成(実施率:58%)となり、着実に成果を上げている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	簡易支援ツールを作成することにより、多くの水道事業者がアセットマネジメントを実施することができた。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	簡易支援ツールは多くの水道事業者に活用されている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	将来の水道事業における運営基盤強化を図るため必要な事業であり、目標設定も行っている。アセットマネジメントの実施率は、簡易支援ツールの整備、地域懇談会等による周知を通じ着実に高まってきており、アセットマネジメントの実施率目標(35年度:100%)に対して、事業開始(24年度)の約3割から26年度は約6割を達成(実施率:58%)し、着実に成果を上げている。				
	改善の方向性	本事業で整備した簡易支援ツールの普及に向け、講演会等の機会を通じ水道事業者へ周知していく。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	—	平成23年度	—	平成24年度	新24-0014	
平成25年度	321	平成26年度	330			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

A.株式会社日水コン			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
食品等試験検査費	新水道ビジョン推進支援に伴う調査業務	7			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 日水コン	新水道ビジョン推進支援に伴う調査業務	71		89%